

令和5年10月3日（火）



9月26日（火）から昨日10月2日（月）まで学習強調週間・はつらつがんばり週間が終わり、本日1校時に、2回目となる「すららですらすらテスト」を実施しました。

今回から1年生も参加しましたが、先月22日（金）の練習テストの際、GIGAタブレットでの答えの入力に苦戦したため、本日はパソコンを使用して実施しました。ひらがな入力とテンキーを使用してスムーズに実施できたようです。

7分から10分程度で終了し、残りの時間で、学習強調週間に達成できなかったユニットを再登録し、熱心に取り組んでいました。

5・6年担任から、4年生以上の子どもたちに、「算数が苦手な人は、練習テストよりも点数を伸ばせるように頑張りましょう。得意な人は全問正解をねらって頑張りましょう。さらに問題を解くスピードを意識できる人はしてみましょう。その他、学習強調週間に、練習をたくさんした人にも賞がもらえます。」という声かけをしてからテストを実施しました。

「タイムアタック賞」をねらって5分も経たないうちにテストを終えた子どもがいたり、レベルアップ賞をねらって20分近く粘る子どもがいたりと様々でしたが、多くの子どもがタブレットのノート機能ではなく、ノートと鉛筆を使って問題を考えていたのが印象的でした。前回のテストや練習テストの経験を生かしているなど感じました。

教育委員会からいただける賞状を楽しみにして、すぐにテスト結果を自分で確かめ一喜一憂する姿があちこちで見られました。

令和5年10月5日(木)



本日、祖父母学級研修会ということで、授業参観と給食の試食会があり、お足元の悪い中、10名の祖父母の方々に参加していただきました。

祖父母学級には、今年度からの新たな取組として、毎週水曜日の清掃ボランティアにご協力いただいています。おかげさまで、教頭と担任が職員室でランチミーティングを行うこ

とで、働き方改革につながっています。校長挨拶の場で、改めて感謝を申し上げました。

祖父母学級の研修会としては、5月に実施した防災教室に次いで2回目となります。「いただきます」の前に、本研修のねらいを3つ確認しました。

一つ目は、給食試食会を通して、今年度から新たな取組として毎週水・木曜日に行っている「なかよし会食」の様子を見ていただくことです。二つ目は、普段どのように栄養バランスを考慮して調理された給食を食べているのか、実際に味わっていただくことです。そして三つ目は、令和8年度の義務教育学校開校に向けて、町内の幼・小・中学校が一貫して取り組んでいる「立腰（腰骨を立てた正しい姿勢）」がきちんとできているか、お孫さんの食べている時の姿勢を点検していただくことです。

子どもたちは、報道委員会が制作した「みんなの時間」を視聴しながら、自分のお祖父ちゃんやお祖母ちゃんと楽しく会食をしていました。普段は職員室でランチミーティングを行っている教頭と担任も、祖父母の方々同様、「なかよし会食」の様子を見るよい機会となりました。



令和5年10月13日（金）



本日、飯豊町議会議員の遠藤芳昭様、舟山政男様、屋嶋雅一様にご来校いただき、11月30日（木）開催予定の「いで子ども議会」について、本校の4～6年生13名を対象に説明していただきました。

まず、屋嶋議員から、この子ども議会が、飯豊町の65周年を記念して行われる事業であることを教えていただきました。そして、この事業を通して、子どもたちに飯豊町をより身近に感じてもらい、地域や飯豊町の行事に積極的に参加してほしいという願いを伝えていただきました。

次に、地元の舟山議員から、町の仕事や議会の仕組みについて説明していただきました。飯豊町に住む約6500人がより生活しやすい町にするために、町民の代表である議員を10名選び、議会で町長と相談しているということをお教えしていただきました。具体的には、国と県、そして町から集めた税金を何に使うか町長が計画を提案したことに対し、議員が正しい使い方をしているかチェックし、町長に質問や意見を伝えるという内容でした。その他、議会は3月・6月・9月・12月の年4回決まった時に行う定例会と、他に必要があれば開く臨時議会があることを教えていただきました。そして、定例の12月議会で、各校から代表として選ばれた子ども議員から、13分間という限られた時間ではあるけれど、町長に直接質問や意見を伝える「一般質問」を行ってほしいというご依頼をいただきました。

前回60周年を記念して開催された子ども議会では、手ノ子小の子ども議員が提案した「ブルーペイント大作戦」が町政に反映され、地区公民館に車椅子マークの駐車スペースが設置されました。今回も、子どもたちの夢のある自由で豊かな感性による、幅広い意見・要望が求められています。6年生を中心に、実体験に基づく地域や町を元気にする意見を4年生以上のみんなでもとめてほしいと思います。

令和5年10月21日(土)



本日、中津川地区の文化祭と西部地区の文化祭に全校で参加してきました。そして、クラブ活動の発表をしてきました。

昨年度のクラブ活動は、中津川地区の伝統工芸「菅笠づくり」にちなんだ花笠踊りを発表しました。今年度は、手ノ子八幡神社の例大祭に向けて西部地区で傳承されている獅子舞を発表しました。5月24日(水)の第1回から、今週10月18日(水)の第6回まで、手ノ子八幡神社獅子連中の皆さんには、平日お仕事の合間を縫って駆けつけていただき、

毎回手本を示していただきながら熱心にご指導いただきました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

子どもたちは、念願の獅子舞に取り組んだものの、初めの頃の振り返りを読むと、「獅子頭を持って振るのは重くて腕がパンパンになるくらい大変だった」とか、獅子連中の方がつくってくださった楽譜を見ながらの太鼓や笛の練習でも、「リズム取りを覚えるのが難しかった」とか、「低い音や高い音がなかなか出なくて、指使いも難しかった」といった感想がほとんどでした。

しかし、子どもたちはあきらめず、手ノ子八幡神社獅子連中の皆さんへのあこがれを強く抱き続けました。獅子舞、笛、太鼓のグループに分かれて、獅子連中の方のお手本をビデオに収めたものを見ながら、互いに教え合って、上手くなったことを互いに認め合いながら、練習を続けました。

また、中には、9月16日(土)の八幡神社例大祭に向けた練習会にも参加した子どもたちもいました。とてもいい練習になったようで、前夜祭で大分自信をつけた様子でした。

これから、11月4日(土)の創立150周年記念式典、11月11日(土)のめざみの里音楽祭での発表を控えています。今日の発表を生かして、児童会目標「オーバーザトップ 目標に向かかって協力し粘り強く取り組もう」にある通り、さらによい発表になるように努力を重ねてほしいと思います。



令和5年10月26日(木)



本日、飯豊町教育委員会の学校訪問があり、お忙しい中、熊野教育長様をはじめ7名の方々にご来校いただきました。

はじめに校長から、今年度の学校経営の概要についてプレゼンテーションしました。

教育委員の皆様からは、「階段踊り場の花壇も含め、校内がすっきりしていてとてもきれいだ。これからも、感性の教育をすすめてほしい。学年が違う複式授業を一生懸命進めている先生方が素晴らしいと感じる反面、子どもたちには義務教育学校で大勢の中で学ばせたいと感じた。」

「子どもたちも先生方も必死になって学校を守っていると感じる。少人数だが、地域と一緒に力を合わせることで、中津川・手ノ子・高峰のよさを引き出している。義務教育学校になる前に、様々な準備が進められていて素晴らしい。」

「『チーム手ノ子小』がひしひしと感じられた。地域との連携も素晴らしいし、一人一人の先生方の教育に対する姿勢も素晴らしい。小規模校のよさを生かして子どもたちは幸せだと思う。」

といったご意見を頂戴しました。

最後に、熊野教育長様からは、「今年が150周年の記念の年であることを、子どもたちと職員、地域にもしっかりと発信していると感じた。そして、地域との交流、地域の文化、地域の思いを大事にしているということもひしひしと伝わった。また、働き方改革の一環としての取組は、しっかりとした考え方に基づいて実行されているからこそ効果が表れてきていると感じた。地域や保護者に意義をしっかりと説明して理解を得ながら、今までの積み上げをさらに広げてほしい。5・6年算数の複式の授業は非常によく組まれていた。1・4年算数の複式の授業も、担任の表情、声の質がよくて進め方が上手いし、学校支援員の関わり方もよかった。」

といったご指導を頂戴しました。

今後の学校経営の方向性についてご示唆いただきましたこと、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。